

令和 4 年度

標津町社会福祉協議会 事業報告書

社会福祉法人 標津町社会福祉協議会

令和4年度 標津町社会福祉協議会事業報告書

No.1

事業名	実施月日	開催地等	参加人数・交付先等	事業内容	備考
1 辞令交付式	4/1	ひまわり	会長・局長	4/1付で、継続雇用の大里事務局長及び書記の宮城に会長より辞令が手渡された。	
2 日常生活自立支援事業に関する打合せ	4/21	ひまわり	主任（日自専門員）、局長（日自監督者）	N.T.さんの日自事業契約に向け、道社協の宮崎専門員及び根室地区事務所長の高島氏がひまわりで打合せを行った後、対象者宅を訪問。	
3 社協会費納入開始	5/1				
4 管内社連協議会・総会	5/20	ひまわり	主任（標津地区理事）、局長（監事）	令和3年度事業報告について、令和3年度収支決算報告について、会計監査報告について、令和4年度事業計画（案）について、令和4年度収支予算（案）について、役員改選について	
5 災害ボランティア設置マニュアルについての協議		あすばる	局長	今年度1回目として、標津町における激甚災害時の災害ボランティアセンター設置に向け、役場危機管理室長の和田氏、ひがし北海道市民防災サポート代表の辻川氏と社協より大量の3人で、昨年度の3回の協議内容の確認（設置マニュアル案）を行った。	
6 N.T.さんに関する協議	5/24	ひまわり	会長・局長・主任、ひまわり関係者5名	日自の契約とならなかったN.T.さんの今後の対応について、関係者で情報共有した。	
7 第1回定期民主委員児童委員協議会	5/25	あすばる	局長	第1部～1、令和3年度事業報告・決算報告について、2、会計監査報告について、3、令和4年度事業計画（案）・予算（案）について、第2部～1、各種研修・会議について、2、ケース報告について、3、その他	
8 社協第4期・令和3年度「監査」	6/1	ひまわり	監事2名、事務局2名	社協の令和3年度の第4期定期監査及び令和3年度監査を実施。	
9 令和4年度「第1回正副会長会議」	6/3	ひまわり	会長、副会長2名、局長	令和4年度 第1回理事会議案審議	
10 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会（Zoomミーティングを使用したオンライン会議）	6/10	ひまわり	局長	午後1時半から16時までの日程で行われた。始めに道社協会長の力示氏の挨拶の後オリエンテーションがあった。先ず最初に、中川常務理事より「道社協の重点課題と事業方針について」20分程度の説明があった。その後、4つの部（生活支援部・権利擁護推進部・地域共生社会推進部・地域福祉部）より事業説明があり、質疑・休憩を取った後、最後に「地域共生社会実現に向けた市町村社協のあり方」と題して、尚志大学の永田祐教授の講演があった。	中川常務理事の説明の中で特に印象に残っているのが、コロナ関係の生活福祉資金特例貸付で、昨年度3/19現在で全国では合計で約361万件で約1兆3千648億円、北海道は、約13万件で477億円。また、各部の中の地域共生社会推進部の説明で6月に道社協内に「ケアラー支援推進センター」を設置したことにより、「ケアラー支援事業」について詳しく説明していた。
11 令和4年度「第1回理事会」	6/15	ひまわり	理事8名、監事2名、事務局2名(常務理事1名含む)	令和3年度事業報告について、令和3年度会計決算報告について、令和3年度会計監査報告について、第1回評議員会の日程等について	
12 令和4年度パークゴルフ初心者講習会	6/22	川北パークゴルフ場	参加者16名(男5、女11) 講師10名、事務局4名	パークゴルフをやったことがない、又はパークゴルフを始めて日が浅いという、いわゆる初心者は知る限りでは1名しかいないことから、この初心者講習会の役目は一定程度果したものと思うので、来年度以降ネーミングも含め検討する必要がある。	
13 令和4年度「標津町ボランティア研修会」	6/24	ひまわり	23名（ボランティア関係者18名、役場危機管理室長、事務局4名）	最初に「災害ボランティアセンター」その意味と取り組みと題して、ひがし北海道市民防災サポート代表の辻川氏の講演。体験を挟み「標津町ボランティアセンターに関する確認等」について事務局より説明。最後に「防災コーナー」として、水害時・地震時の用意しておきたい5点セット等を中心に説明。参加者の代表に非常食も試食してもらった。	辻川氏の講演の中では「自分の身は自分で守る」や「『防災は行政の仕事』という昭和の考えは捨てよう」の話は、参考になった。
14 令和4年度「第1回評議員会」	6/29	ひまわり	評議員10名、理事1名、監事2名、事務局2名(常務理事1名含む)	令和3年度事業報告について、令和3年度会計決算報告について、令和3年度会計監査報告について	
15 根室・釧路地区別課題対応会議	7/7～8	中標津町	会長・局長	隔年で交替している「令和4年度 根室・釧路地区別課題対応会議」が、根室の当番のもとで開催された。最初に「社協としてケアラー・ヤングケアラー問題について」の講演が、道社協地域共生社会推進部の中村健治部長より90分程あった。その後、「80・50・90・60問題について」情報交換がなされた。	根室管内1市4町～12名（地区事務所含む）、釧路地区1市6町1村～17名（地区事務所含む）
16 第49回高齢者軽スポーツ交流会	7/26	総合体育館	参加者76名 外35名	会員64名・一般12名、来賓4名、高齢者福祉相談員7名・社協役員4名・社協評議員4名・民生児童委員3名・ボランティア5名、看護師1名、町職員3名、笠置職員4名。結果については、昨年度と今年度の交流会も含め5年連続で白チーム（北標津・茶志野）が優勝。	コロナ前と比べると、高齢者の参加者数は半減しているが、これは仕方ないところ。ただ、2年連続で一つのチームが成立していないことを考えると、来年50回大会（交流会）を除き、それ以後については、チームの組み合わせ始め検討しなければならない事項がある。
17 第2回定期民主委員児童委員協議会	7/28	あすばる	局長	1. 各種研修・会議について、2. ケース報告について、3. その他の委員活動並進講座 ②管内民生児童委員専門研修③児童部会訪問について④視察研修について冊子・広報誌の配布について等。	
18 標津川標津地区水害対応タイムライン第2回検討会	8/5	あすばる	会長、局長	これまでの取り組みについて、1. 水害リスクについて、2. タイムラインの必要性について、3. これまでの取り組みについて4. 完成までのスケジュール、以上の4点について事務局より説明があった。休憩を挟み、5つ（当日は事情により4つ）のグループに分かれ意見交換が行われた。その後、グループ毎に協議された内容についての発表があり、最後に2名のアドバイザーより結論として本検討会の感想及び今後へのアドバイスがあった。	
19 第1期「定期監査」		ひまわり	監事2名、局長・主任	令和4年度の第1期として4月～6月の監査が行われた。	
20 根室地区ボランティア活動推進会議	8/10	中標津町プラット	局長	根室管内のボランティア活動推進員が、コロナの影響から2年振りに集まり、令和4年度の管内ボランティア研修会の内容と予算について協議した。また、その後、各地域の状況に関して情報交換をした。なお、本町の佐藤氏が北海道ボランティア推進委員会との連携で、新たに根室地区の代議員として選出された。	標津町ボランティア活動推進委員の佐藤 久美子氏出席。
21 第2回理事会（書面会議）	8/19	ひまわり	理事8名～同意書、監事2名～確認書	議題については第1期定期監査報告及び4月～7月の実施事業報告の2点で、コロナの影響を考慮し第2回理事会は書面開催とした。	
22 痴知症の人と共に暮らすまちづくり研修会（痴知症サポーター養成講座）	8/26	あすばる	会長・局長・主任	最初に、別海町在宅介護者と歩む会会長の松村様子氏が介護体験発表をし、続いて痴知症サポーター養成講座として前段に北海道痴知症の人を支える家族の会事務局長・西村敏子氏が痴知症サポーターの役割について説明。その後、「人生100年時代を生きる」と題して、札幌市にある「グループホーム福寿荘」総合施設長の武田純子氏の講演があった。武田氏の話は、看護士時代もさすがに実体験の話だけに大変聴き力があり、参考にもなった。	

事 業 名	実施月日	開催地等	参加人数・交付先等	事 業 内 容	備 考
23 横室管内社連協「研修会」(Zoom)	9/2	ひまわり	局長・主任	オンライン研修、「好感度を上げるコミュニケーションのコツ」→推進で失敗しないために～と題して、講師はNPO法人 北海道総合福祉研究センター理事長の五十嵐教氏の軽妙な口調で分かりやすく参考になった点も多かった。	
24 全道市町村社協事務局長連絡会議【本会議】(Zoom)	9/9	あすばる	局長	オンライン研修、「社協に求められる新たな取り組み」をテーマに、北海道古小牧市社協の「大・描・手・持・かり事業について」、滋賀県草津市社協の「草津市社協チューリップ事業について」、沖縄県中城村社協の「高齢者居宅サポートモデル事業について」、福岡県福岡市社協の「草の根交流プログラム～外国人介護人材と地域住民との交流～」と4社協の実践発表があった。最後に北星学園大教授の田中氏より協議とまとめのコメントがあった。	
25 令和4年度福祉資金「贈呈式」	9/27	中標津町プラット	会長・局長	3年に1回実施されている、一般社団法人生命保険協会振興協会様からの福祉物品の贈呈事業。今年度は現金支給となり、本町は上限の10万円を申請した。なお、購入品は卓袱1台、非接触型温度計15個、ハイチエアー2台。	
26 社協会長杯パークゴルフ大会	9/28	川北パークゴルフ場	会長・局長・主任・書記	暑くも寒くもないパークゴルフ日和に恵まれ、40名（男性25名+女性15名）の方がプレーを楽しんだ。ホールインワン賞も7名の方が獲得した。なお、男性優勝者の水本氏は100を切る驚異の9.6というスコアだった。	
27 第3回定期例民生委員児童委員協議会	9/29	あすばる	局長	1. 各種研修・会議について、2. ケース報告について、3. その他①次期役員について ②視察研修について ③冊子・広報誌の配布について等。	
28 全道市町村社協事務局長連絡会議【課題別グループ協議】(Zoom)	9/29	ひまわり	局長	オンライン研修。最初に「事前アンケートの集約結果及び宣言の傾向について」の説明があった。その後、テーマ①「地域社会関係事業経営上の課題と対応」について情報交換・協議、休憩を挟み、テーマ②「災害支援における課題と対応」に関する情報交換・協議。①では、どこも同じような課題を持っており、②については本町の取り組みの方が進んでいると感じた。	
29 日常生活自立支援事業（リモート研修）不正防止研修(zoom)	9/30	ひまわり	局長・主任	オンライン研修。各社協機関連携推進部機関連携の担当者が、以下の3点について説明した。1. 日常生活自立支援事業における不正行為のポイント、2. 選択監査員、自立生活支援専門、生活支援員の役割、3. 指揮監査員、自立生活支援専門員の具体的な業務のチェックポイント	
30 成年後見制度講演会	10/14	ひまわり	会長・主任	「横室地域における事例と法人選定」と題して、講師の一般社団法人後見ネット道東・代表理事の猪原氏が講演をした。また、資料として各自における特徴と取扱いについて、2021年及び2022年8月段階の状況について、月別・許可の種類別の認知件数、候補金額、候選数の算出表があった。	
31 災害ボランティアセンター運営訓練	10/18	羔志骨コミュニティーセンター	会長・局長・主任・書記	本町において、初めて実施した。参加者は、運営者8名、ボランティア13名、振興局・報道・警察署関係者が11名で、合わせて32名となった。当日、全面的に司会・進行を担当してもらったり、ひがい北海道市民防災サポート代表の川田氏のリエンターンシップから始まり、前半に災害ボランティア運営訓練、休憩を挟み災害ボランティアマッチング研修（ゲーム）を実施したが、殆どの参加者が初めてにも関わらず、構築的に行われ、ゲームも熱心に取り組んでいたのが印象的であった。	
32 日常生活自立支援事業（リモート研修）（講義とグループワーク）Zoom	10/24	ひまわり	村山氏（支援員）、主任（専門員）、局長（監督者）	オンライン研修。最初に「日常生活自立支援事業の概要と扱いの役割について」説明があった。その後、「ギャンブル依存症への対応について」と題して精神科医の田辺孝氏の講義。休憩後、「生活支援員業務の流れについて」の説明があり、最後に意見交換の進行が90分程度設定された。意見交換では、グループ内の意見でう後の参考になるものもあった。	
33 諫根地区「地域支え合い活動推進セミナー」及び「地域に理解される社協づくり研修」	11/9	諫路センチュリーキャッスルホテル	会長、局長含め計6名参加	最初に「厚岸町社協のボランティアセンターの取り組みについて～ボランティアポイント／生活支援サービス／共生型スペース～」と題して、諫路社協の柏木副課長の実績発表、次に「SDG'sと小地域福祉活動」と題して、北星学園大の岡田教授の講演。岡田氏のSDG'sの17のゴールと過去の小地域活動（事例）を紹介した話は興味深かった。	佐藤久氏（評議員）、金田氏（民生児童委員）、佐藤勝氏（若連副会長）、藤本氏（サロン代表）
34 社協「第2回定期監査」	11/10	ひまわり	監事2名、局長・主任	令和4年度の第2回として7月～9月の定期監査が行われた。	
35 社協第3回正副会長会議	11/16	ひまわり	会長、副会長2名、局長	第3回理事会の議事について審議した。	
36 令和4年度根室地区災害ボランティア組織連携	11/17	根室市	局長	最初に、行政説明として「災害ボランティア受け入れ体制整備の法的根拠について」、次に「災害ボランティアセンター設置運営等支援事業について」、更に「多様な被災者支援王体間の連携の必要性（社協視点）について」を社協の担当者より説明。同じテーマながらNPO法人視点で北サボの担当者より説明。最後に、「市町内における各機関との連携状況等について」意見交換、情報交流となった。	根室町ボランティア活動推進委員である佐藤久氏の2人で参加。 ※北サボ～北の国災害サポートチームの略
37 第4回定期民生委員児童委員協議会	11/22	あすばる	局長	1. 各種研修・会議について 2. ケース（報告）について 3. 新年会について 4. その他①令和4年度未開講会について ②冊子・広報誌の配布について等。	
38 社協「第3回理事会」	11/24	ひまわり	会長・局長・主任	1. 令和4年度8月～10月の実施事業について 2. 令和4年度第2回（7月～9月）定期監査報告について 3. 令和4年度終了まで受け入れ費用助成分配について 4. 生活一時貸付金事業費還済納者の件について 5. 第2期地域福祉実験計画（2年次）の評議・検証日程について 6. 挿正予算について 7. その他	
39 家事間係機関との連絡協議会（Zoom）	11/25	ひまわり	局長・主任	最初に、「十勝管内新函南における中核機関設置に至る経過について」、NPO法人地域福祉支援センターらいしさの手の消防社会福祉士より説明があった。説明終了後、15分程度質疑応答の時間が与られた。続いて、別海町の担当者より「中核機関設置に至るまでの経緯等についてイントビュー」の説明があり、その後、十勝管内機関設置の時間が取られた。休憩を挟み、手始めにグループ分けされたグループ毎に、尋ね・進行役を決めた後、協議及び情報共有の時間が5分程度設定された。樺津町において、中核機関に関しては聞かっていないことを、全体を渡して一方的に聞く側となった。	「ひまわり」より、木村氏（地域包括）と川越氏（障がい児者担当）が参加。
40 令和4年度「ふれあい広場」	11/26	あすばる	会長・局長・主任・書記	コロナの影響から、昨年度同様、内容を縮小して「講演」と「ふれあい拍手会」の2本立てとした。コロナ禍ではあったが、参加者数は16名（内、聴講者13名）となった。併せて、稚内高校のボランティア団員4名の協力は、他の先生たちも大変有難く、赤い羽根募金、ピッパッソーラーを担当してもらえた。また、キラリ青のバザーは好評で、販売も盛況だったとのこと。	
41 北海道コカ・コーラ様より寄贈の飲み物配布	12/13	5ヶ所	会長・書記	毎年のことで大変ありがたいことではあるが、今年度も北海道コカ・コーラボトリング株式会社中標津営業所様より、飲料【10箱～270箱】の寄付があった。それぞ、町内の5施設（キラリ児童館・川北児童館・キラリ工房・はまなす駄・グループホーム夢ふうせん空）に配布した。	
42 福井県「高齢者いきいきレクリエーション」	12/19	ひまわり	すずらん会会員10名、社協4名（会長・局長・主任・書記）	全参加者が10名と、昨年度より更に少くなり寂しい人数となった。例年、参加者を紅白の2チームに分け、紅白対抗で7種目で交流を行った。今年は1種目選ばしや8種目で競ったが、参加者総数も少なかったことで、12時少し前に終了することができた。参加者全員、怪我することもなく、真剣な中にても笑いもあり、終始和やかな雰囲気であった。	

事 業 名	実施月日	開催場所等	参加人数・交付券等	事 業 内 容	備 考
43 社説第3回定期監査	2023年1月12日	ひまわり	監事2名・局長・主任	今年度の第3回期(10月～12月)に関する監査を実施。	
44 社説第4回「正副会長会議」	1/18	ひまわり	会長・副会長2名・局長	第4回理事会「議案」審議	
45 社説第4回「理事会」	1/27	ひまわり	理事6名、事務員2名	令和4年1月11日～12月の実施事業について、令和4年定期第3回(10月～12月)定期監査報告について、第2回内閣府実績計画(2年次)実績アンケートの実績結果について、現状分析について	
46 福祉教育川遊び授業	2/7	横浜小学校	局長・主任・憲記	横浜小学校の4年生を対象に、「慈母的のK王吉と学習の発見」の題材体験として甲子町体験、高齢者疑似体験、被災地体験の3つの授業を展開。甲子町体験と高齢者疑似体験において、付添職員が活躍となりました。	
47 令和4年度市町村ボランティアリーダー学習会（Zoom）	2/10	ひまわり	局長	最初に、「若手・働き世代のボランティア参加・育成」の講話で、神奈川大学の貴池ゆか氏の講演、休憩を挟み、グループに分かれればれ交換を行われた。	
48 令和4年度在宅医療担当者会議(ふれあい協議)	2/13	町内	会長・局長	8名の対象者全員が出席し、毛布を贈呈した。	
49 令和4年成りあい・いきいきサロン「ボランティア交流会」	3/6	ひまわり	サロン代表者及びスタッフ1名、会員14名	若い今の活動の話を交換することにより、次年度の活動に活かすことを目的に勉強会を開いている。各サロンより実技発表をしてもらい、その後、簡単な自己紹介会を実施。最後に、懇親会・懇親会の紹介をし、実際に体験もしてもらったりした。次回の実技発表は3月10日(土)に予定している。	
50 社説第5回「正副会長会議」	3/8	ひまわり	会長・副会長2名・局長	第5回理事会「議案」審議	
51 社説第5回「理事会」	3/10	ひまわり	理事7名、事務員2名	令和5年1月～2月の実施事業・今後の日程について、令和4年度第2回定期監査会の日程等について、令和5年成りあい協議会事業計画(案)について、令和5年度第2回定期監査会実績計画(3年次)(案)について、令和5年度社会福祉監査会予算(案)について	
52 令和4年度「地域活動サミット」	3/12	あすはる	参加者98名(一般B1名、関係者17名)	最初に、『災害への備えは自分ごと』の講話で、ひがし北埼玉山形助農サポート代表・上川実氏の講演があった。その後、5S活動(最初は会員、並井理津子とも講演)、米田町山形助農課、尾澤高校～今村町立会員・鈴木町会員・川村町会員、内閣府厚生労働省(農政局)より発表。また意見があり、最後に、利田保健監査会より講評をもらった。模擬市で初めての「防災サミット」となったが、参加者に対して評議がほとんどなかったと思ふ。同時にこれからは取り組みが入ることほしむ。	
53 「あんしんサポーター」魅惑配信	3/23～24	町内18件	会長・書記	「やめんしゃくボーダー安心会」を開催し、1年半の活動の実績を振り返り話し合を実施と共に、来年は下年度のポイントに相当する奨励品を授与していくが、コロナ感染拡大の実勢から今後も交付会員を実施しないことにより対象者に配慮する年次改訂。	
54	3/28	ひまわり	認定員8名、監修2名、评审1名、事務員2名	令和5年成り第3回(1月～12月)定期監査会について、令和5年度第2回定期監査会実績計画(3年次)(案)について、令和5年度社会福祉監査会予算(案)について	
55 第2回保育地区ボランティア活動推進会議	3/29	中横濱トーヨーGH	選進委員11名、地区事務員2名	選進委員11名のボランティア活動監査員及び社内のボランティア活動担当者が一同に会し、切磋を深めた。最初に「東西ボランティアセンターでのCT支援」「ネットワークの活性化見守り、六ヶ所、一つほどのお隣づくり」と話し、貞路市幼児ネットワークの小野寺一氏による講義の後、各地区におけるボランティア活動の活用実績が行われたまた、来年度の会員登録申込までの実施されることで述べられた。	横浜市ボランティア活動監査員の佐藤久美子氏と事務局で参加
56 「社会により」「豆により」の介助	年12回	町内	対応により年2回豆付・豆により自立支援年10回豆付		
57 町村支援ネットワーク活動者認定会	通年	町内	町内会 1 件 子ども会 4 件	町内会での高齢者等支援活動の実績及び助成事業 子ども会認定事業	活動助成金20,000円×1～20,000円 活動助成金30,000円×3：17,000円～107,000円
58 ふれあい・いきいきサロン事業	月1回	横浜2、川北 川上、中原、土呂	基本:月1回×6ヶ月～12月 横浜駅へ駆け足871名 横浜市立人クラブ連合会 シルバーコミュニティ 横浜町立身体障害者福祉協会 民生別里委員会監査会 横浜町立巡回会	介護老人事業として地区サロンへの支援及び助成事業 介助会、介護の会、元気会、ささの会、集い・円、笑の会	立て代額 50,000円 助成金13,000円×平均参加者平均人數 補助額 67,000円 補助額 70,000円 補助額 133,000円 補助額 100,000円 補助額 134,000円
59 社会福祉団体支援			34世帯(13町内会) 小学校・中学校・高校	助成事業 福祉教育事業の助成・支援 福祉活動助成金 10,000円×5校	助成額 170,000円 福祉教育活動助成金 10,000円×5校

62 事 業 名	実施月日	開 催 等	事 業 内 容	備 考
63 生活福祉資金の貸付(都社認可貸付会員)	通年	低所得世帯・身体障がい者世帯・高齢者世帯	貸付件数 5件(償還途中) R4年度新規貸付 1件 緊急小口資金貸付件数: 19件 緊急支援貸付件数: 16件(再貸付3件・延長1件含む)	実施主体: 北埼玉社会福祉協議会
64 コロナに関する貸付貸付(緊急小口・貸合支援)	通年	生活困窮世帯	生活困窮世帯	実施主体: 北埼玉社会福祉協議会
65 生活一時資金の貸付(都社認可)	通年	各ボランティア	ボランティア活動中の手数料に係る	実施主体: 福祉団体社会福祉協議会
66 ボランティア扶助の加入促進	通年	高齢、既疾、既死等で福祉機器を必要とする者	手数料等の貸付	令和4年度実績 貸付 24件
67 福祉機器リサイクルネットワーク事業	通年	子育てに必要な者	リサイクルベビーベッド、ベビーカー、チャイルドシート等の貸付	令和4年度実績 貸付 66件